

国民健康保険第三期保健事業実施計画（データヘルス計画）

1 法的根拠

「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」(データヘルス計画)

「高齢者の医療の確保に関する法律」(特定健康診査等実施計画)

2 計画の目的

生活習慣病予防による健康寿命の延伸と医療費の伸びの抑制

3 計画の位置づけ及び計画期間

令和5年度をもって両計画の期間が満了することから、令和6年度から11年度までの6年間における次期計画を策定する。

4 データヘルス計画の成果目標

課題を解決するための成果目標		H30	R1	R2	R3	R4	目標値
短期目標	特定健診受診率の向上	36.6%	34.2%	33.5%	34.2%	34.4% (暫定値)	60.0%
	特定保健指導の実施率の向上	31.9%	25.4%	18.9%	19.3%	21.7% (暫定値)	60.0%
	健診受診者のうち高血圧の者の割合減少 (180mmHg/110mmHg以上)	0.86%	0.84%	1.03%	1.02%	0.96%	0.65%
	健診受診者のうち脂質異常の者の割合減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上)	13.93%	13.53%	12.90%	15.00%	12.59%	11.90%
	健診受診者のうち血糖コントロール不良者の 割合の減少 (HbA1c8.0%以上)		1.81%	1.89%	1.89%	1.60%	1.32%
	血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1c8.4%以上)	1.22%	1.23%	1.26%	1.27%	1.09%	0.82%
中長期目標	脳血管疾患の入院医療費の減少	15.0億円	15.1億円	15.6億円	13.7億円	13.7億円	R1より 減少
	虚血性心疾患の入院医療費の減少	10.8億円	9.6億円	8.5億円	8.9億円	8.7億円	
	人工透析(糖尿病性腎症)による医療費の 減少	27.4億円	26.2億円	26.5億円	25.4億円	26.0億円	
	年間新規透析患者数の割合の減少 (国保加入者 千人あたり)	0.49人 (H28)	0.51人	0.47人	0.60人	0.56人	H28より 減少
	年間新規透析患者数の割合の減少 (後期加入者 千人あたり)	1.33人	1.22人	1.47人	1.36人	1.24人	R1より 減少

5 次期計画の取組み内容(案)

特定健診・特定保健指導の推進

健診受診率向上のため、新規国保加入者や40・50代への健診受診勧奨を強化し、継続受診へつなげる。また、特定保健指導実施率向上のための対策を検討する。

高血圧・糖尿病等の未治療割合の減少

有所見のある者の未治療割合が高いことから、未治療者割合の減少を目指す。

特定保健指導非対象者への保健指導の充実

市役所・区役所の専門職が行う特定保健指導非対象者への保健指導を引き続き推進していく。

慢性腎臓病(CKD)予防連携システムを活用した腎機能低下防止対策

北九州市 CKD 予防連携システムを効果的に活用し、特定健診受診者から腎機能低下者をスクリーニングすることにより、適切な保健指導や腎専門医への受診勧奨へつなげる。

糖尿病性腎症重症化予防対策

健診・レセプト等でハイリスク者を抽出し、優先順位をつけて受診勧奨・保健指導を実施する。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

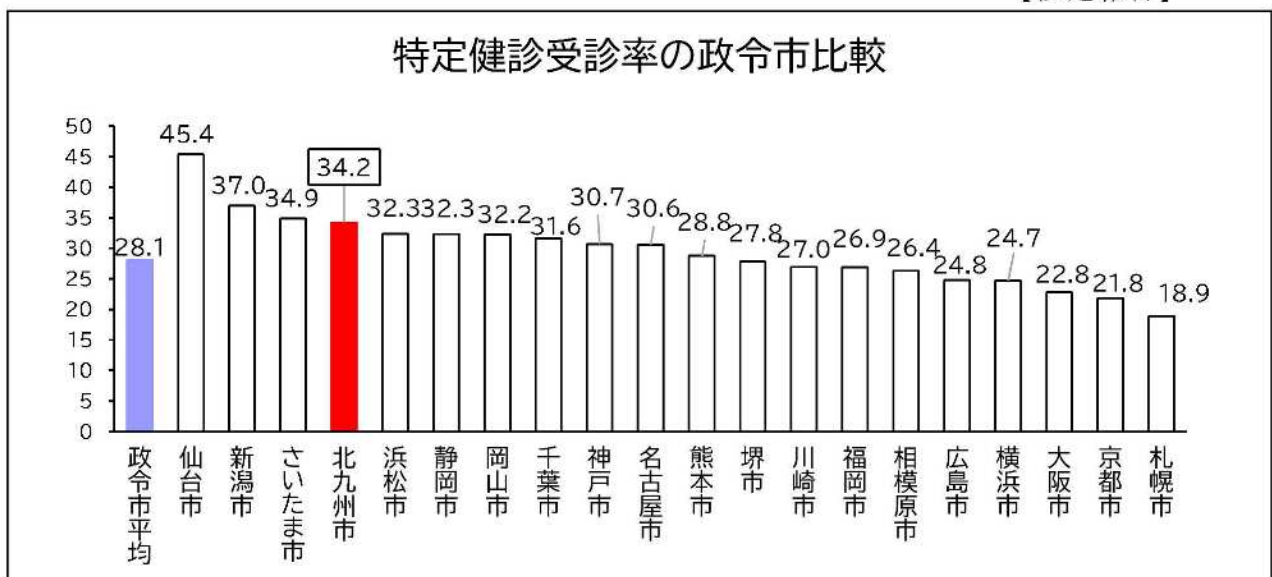
75歳から後期高齢者医療制度へ異動するが、保健事業については、生活習慣病等の重症化を予防する取り組みと、生活機能低下を防止する取り組みの双方を一体的に実施していく。

北九州市の現状について

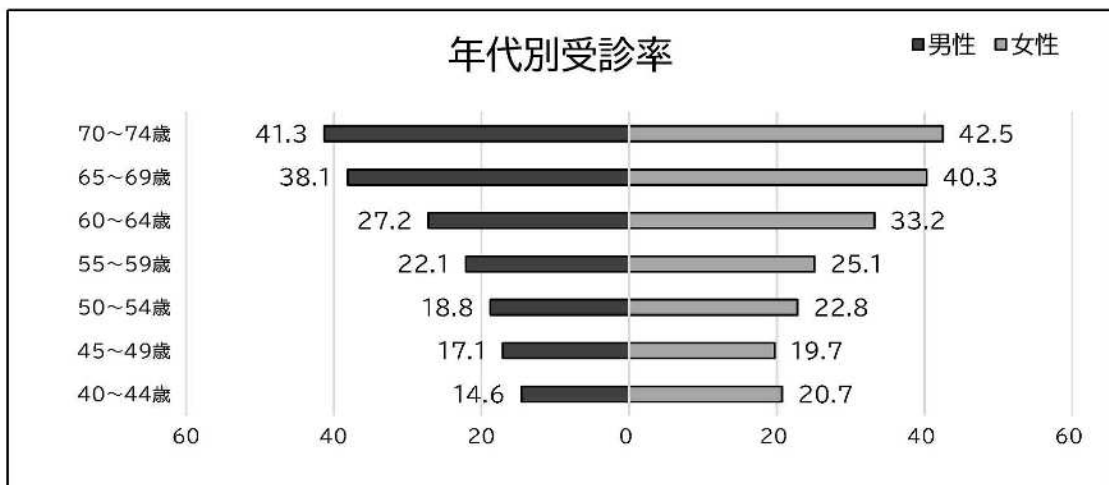
(1) 特定健診受診率（令和3年度）



【法定報告】

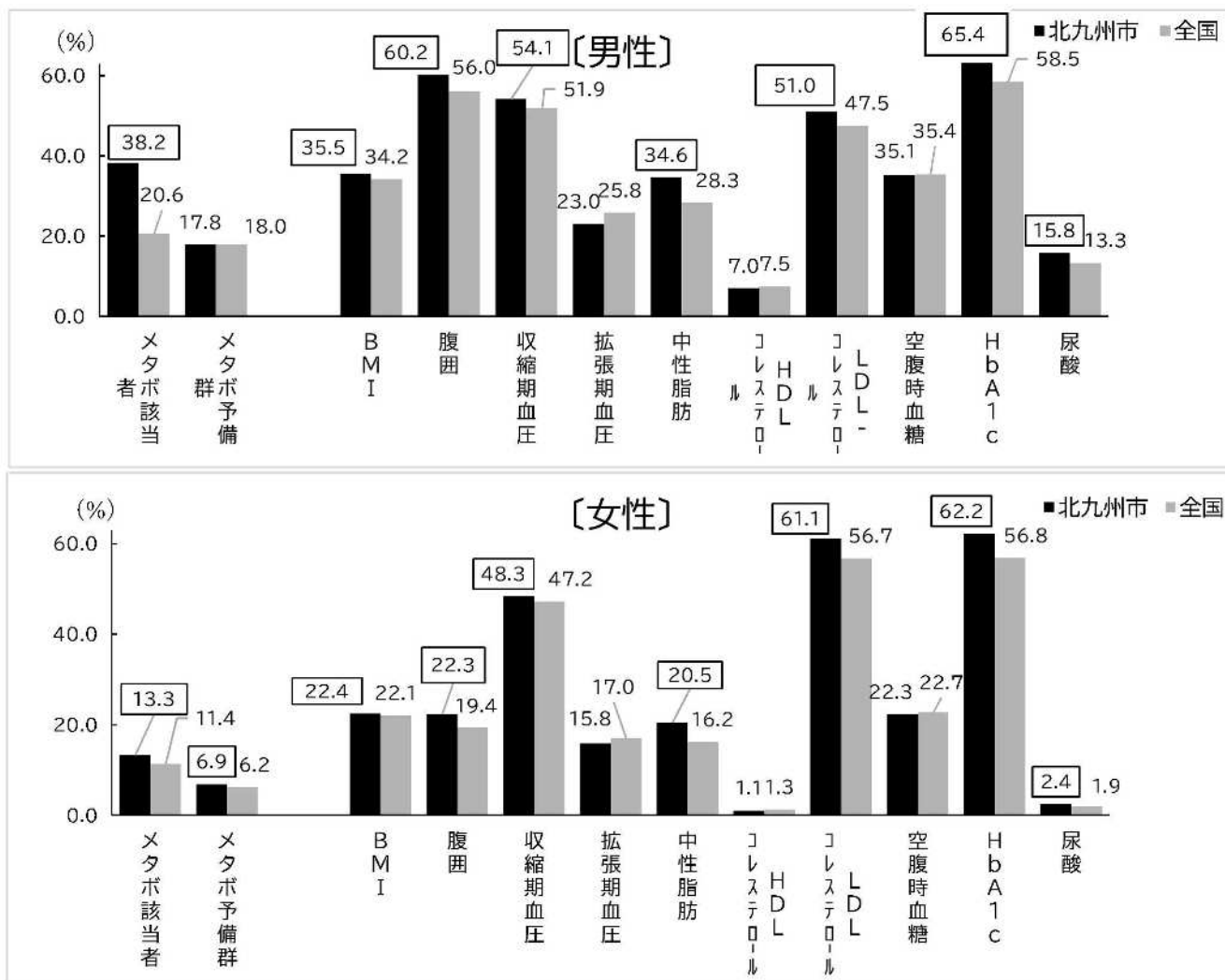


【法定報告】



【法定報告】

(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合と有所見割合 (男女別)



【出典】 KDB システム (R3 年度)

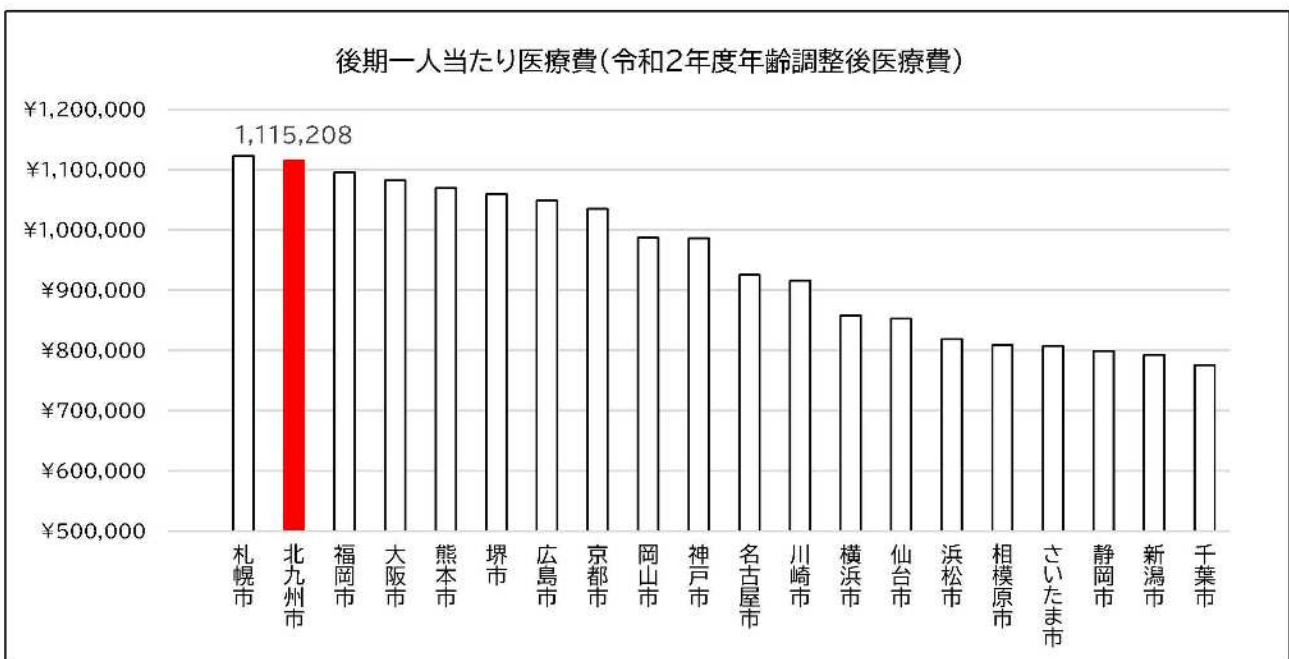
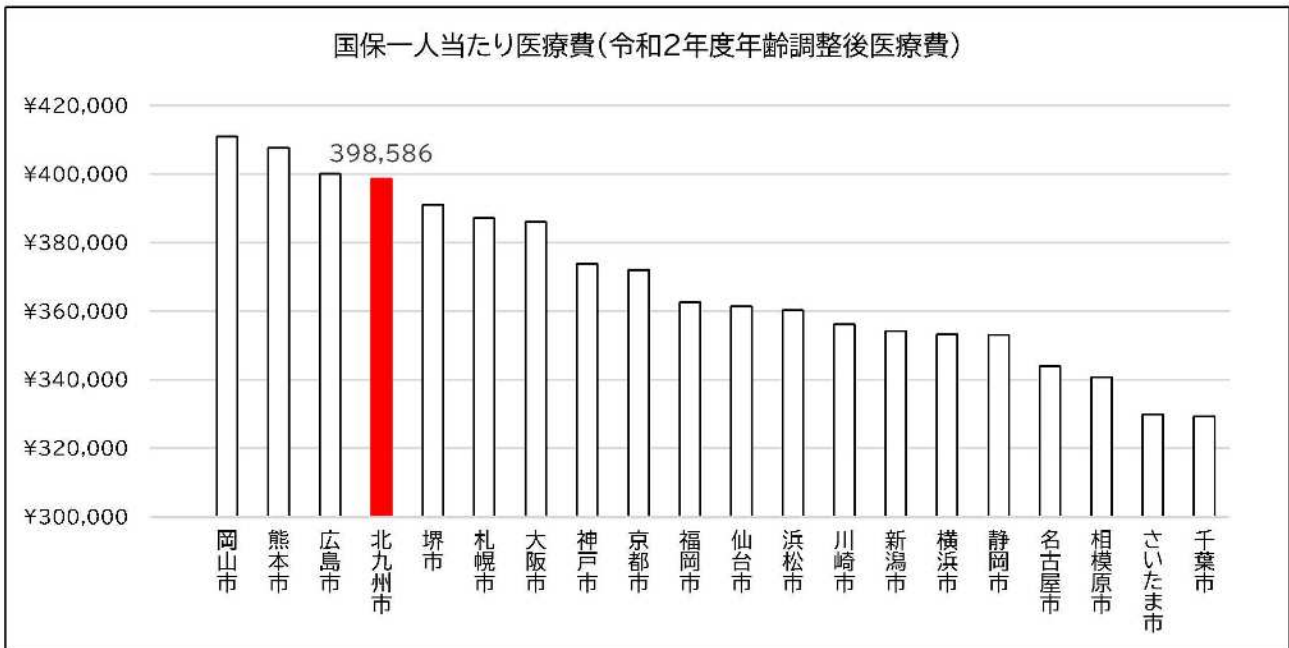
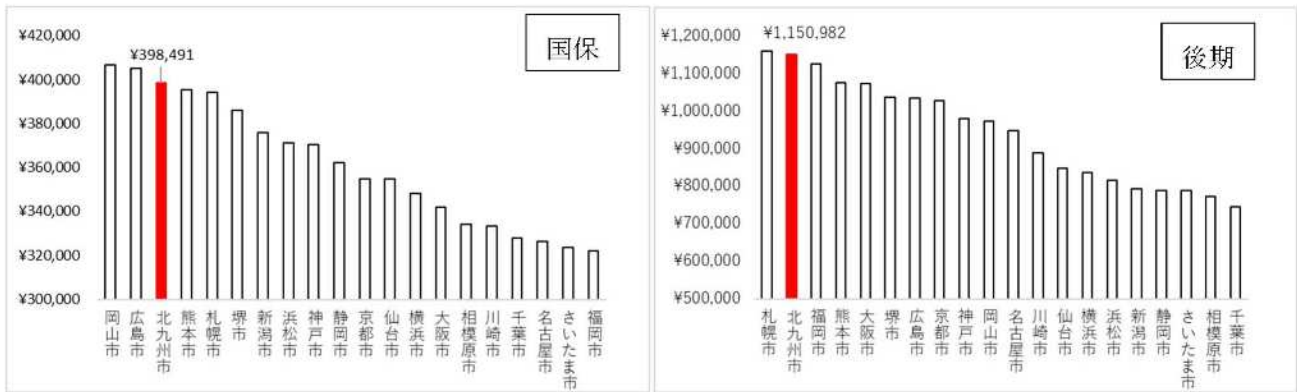
(3) 北九州市国保加入者のレセプト分析

全体	高血圧症	糖尿病	脂質異常症	高尿酸血症
76,928 人	41,876 人	23,367 人	35,939 人	7,443 人
	54.4%	30.4%	46.7%	9.7%

全体		脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症
76,928 人		6,910 人	8,386 人	1,422 人
		9.0%	10.9%	1.8%
基礎疾患の重なり	高血圧	5,436 人	6,619 人	1,111 人
		78.7%	78.9%	78.1%
	糖尿病	3,086 人	4,185 人	1,422 人
		44.7%	49.9%	100.0%
脂質異常症	4,556 人	6,282 人	1,088 人	
	65.9%	74.9%	76.5%	

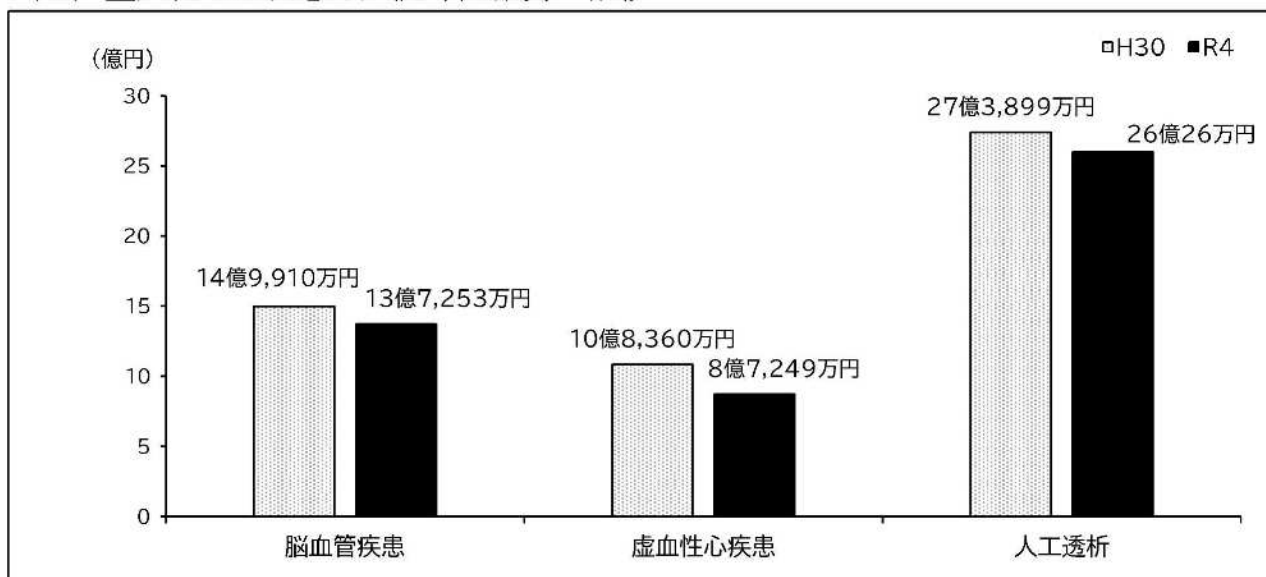
【出典】 保健事業評価・分析システム (R3.5 診療分)

(4) 国保及び後期高齢者一人当たり医療費（令和2年度実績医療費）



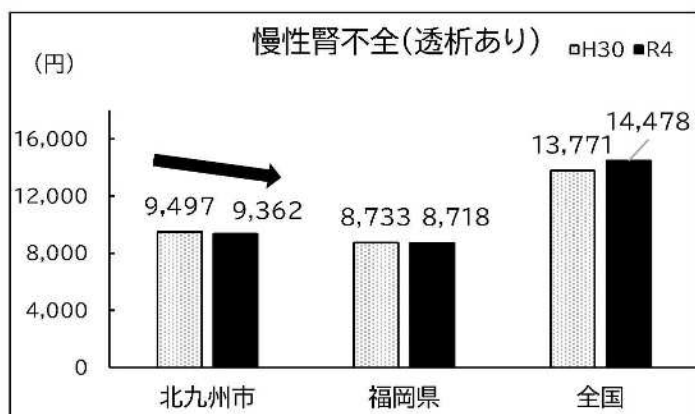
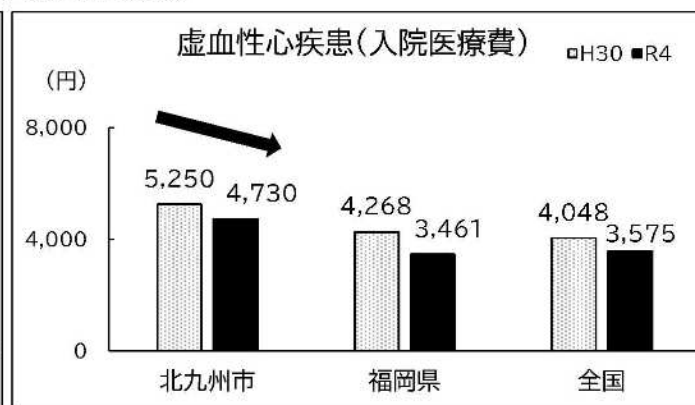
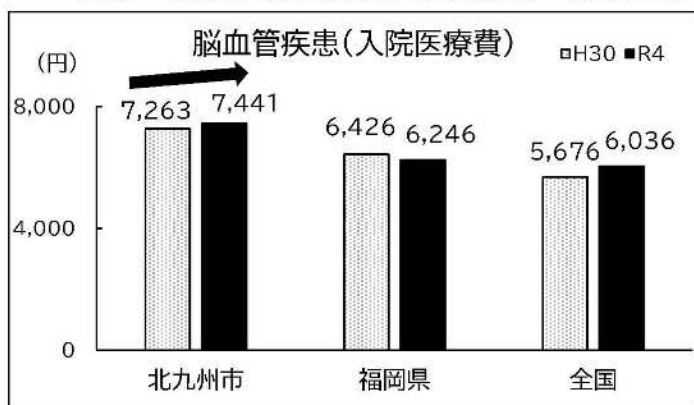
【出典】厚生労働省：医療費の地域差分析

(5) 重症化した疾患の入院等医療費の推移



【出典】 KDB (H28・R4 年度)、保健事業評価・分析システム

(6) 重症化した疾患の被保険者一人あたり入院等医療費



【出典】 KDB (H30・R4 年度)

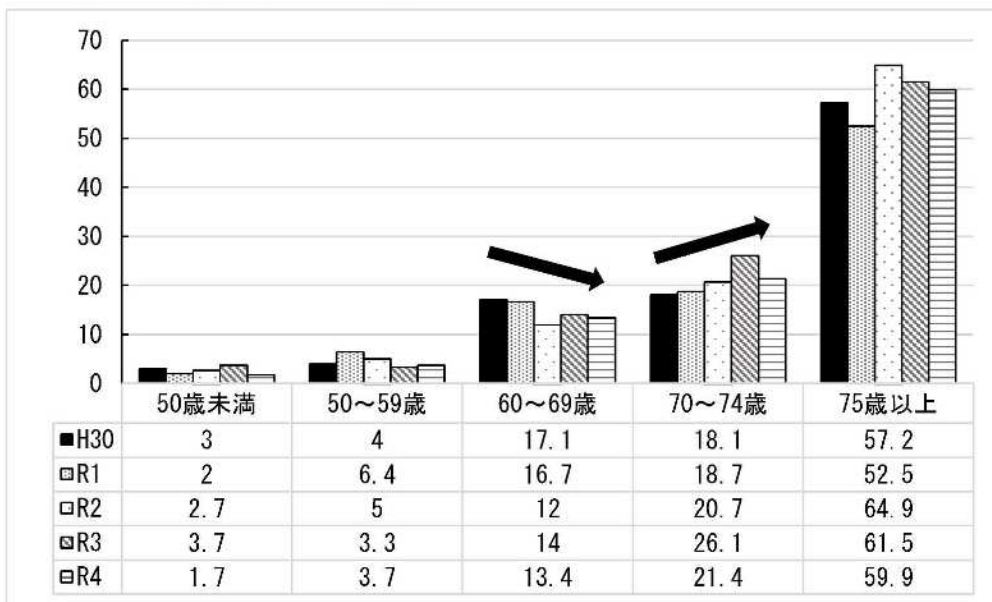
いずれも 65～74 歳は北九州市国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者のうち新規透析患者数をあらわしたものの

(7) 北九州市の新規透析導入者の推移

【年代別新規透析導入者数】() 内の数字は糖尿病ありの再掲

	50歳未満	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
H30	9人 (5人)	12人 (11人)	51人 (44人)	54人 (42人)	171人 (137人)
R1	6人 (6人)	19人 (16人)	50人 (44人)	56人 (48人)	157人 (131人)
R2	8人 (5人)	15人 (10人)	36人 (29人)	62人 (46人)	194人 (160人)
R3	11人 (6人)	10人 (10人)	42人 (33人)	78人 (60人)	184人 (150人)
R4	5人 (3人)	11人 (9人)	40人 (29人)	64人 (50人)	179人 (133人)

【新規透析導入者の年代別割合の推移】



【新規透析導入患者の推移】

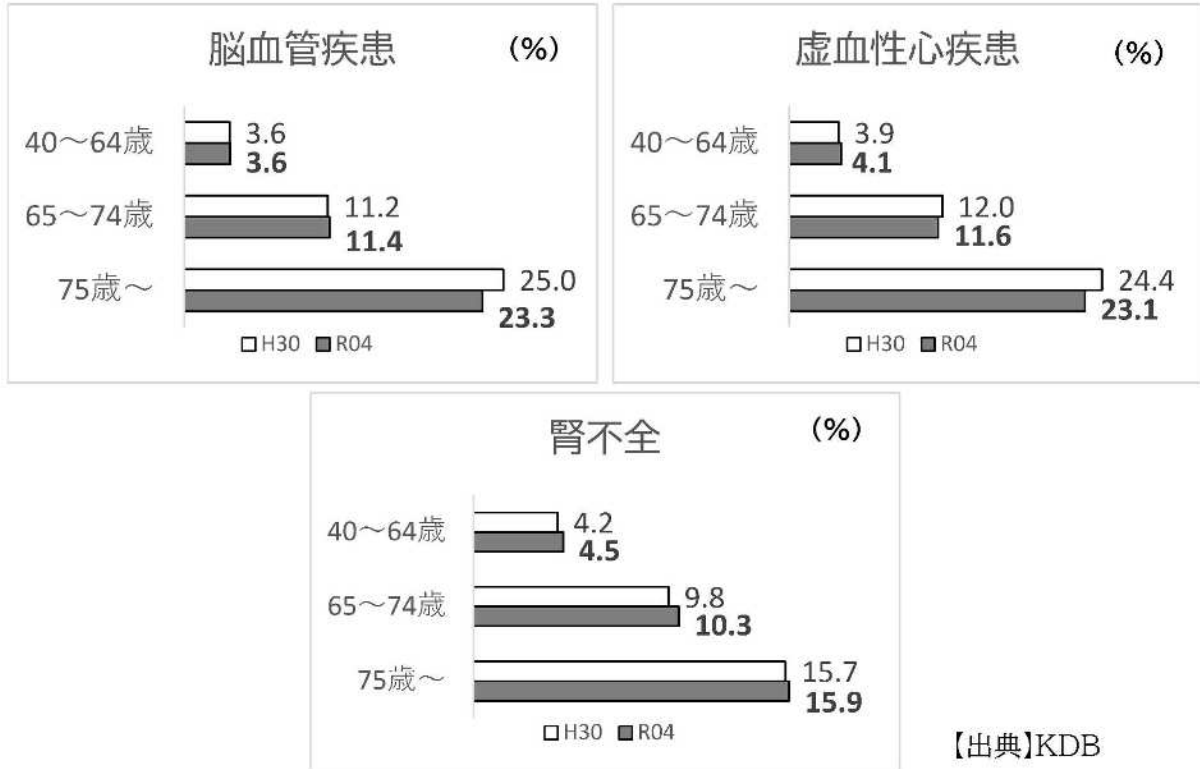
市町村名	国保									
	H30	被保千対	R1	被保千対	R2	被保千対	R3年度	被保千対	R4年度	被保千対
北九州市	98	0.47	103	0.51	93	0.47	116	0.60	104	0.56
福岡県	508	0.44	487	0.43	487	0.44	491	0.45	464	0.44

市町村名	後期									
	H30	被保千対	R1	被保千対	R2	被保千対	R3年度	被保千対	R4年度	被保千対
北九州市	199	1.33	185	1.22	222	1.47	209	1.36	195	1.24
再掲 (65～74歳)	28	—	28	—	28	—	25	—	16	—
福岡県	866	1.26	825	1.18	911	1.30	856	1.19	790	1.07

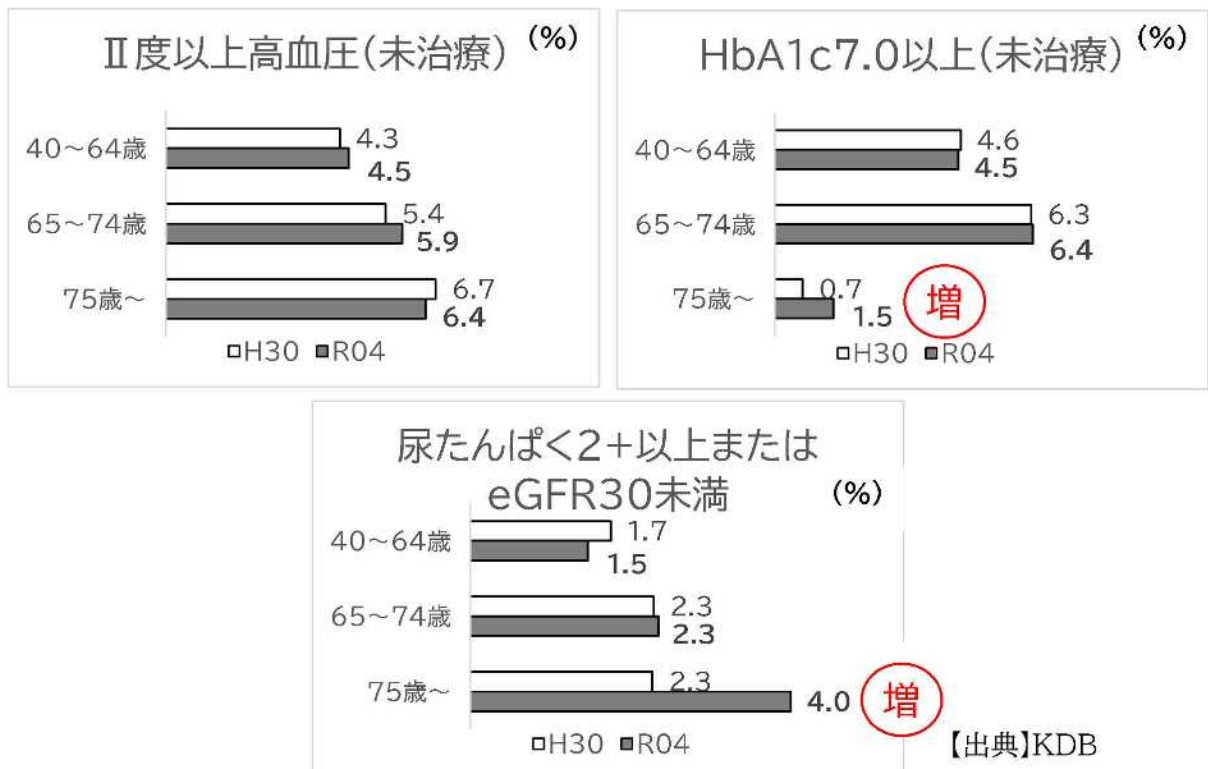
【出典】保健事業評価・分析システム

生活習慣病の推移と肥満の状況

1 重症化した疾患の推移(令和4年度・平成30年度の比較)



2 健診有所見者の推移(令和4年度・平成30年度の比較)



3 健診受診者の治療状況(R3)

健診受診者:47,485 人

Ⅱ度以上高血圧	2,695 人	5.7%
HbA1c7.0 以上	2,962 人	6.2%

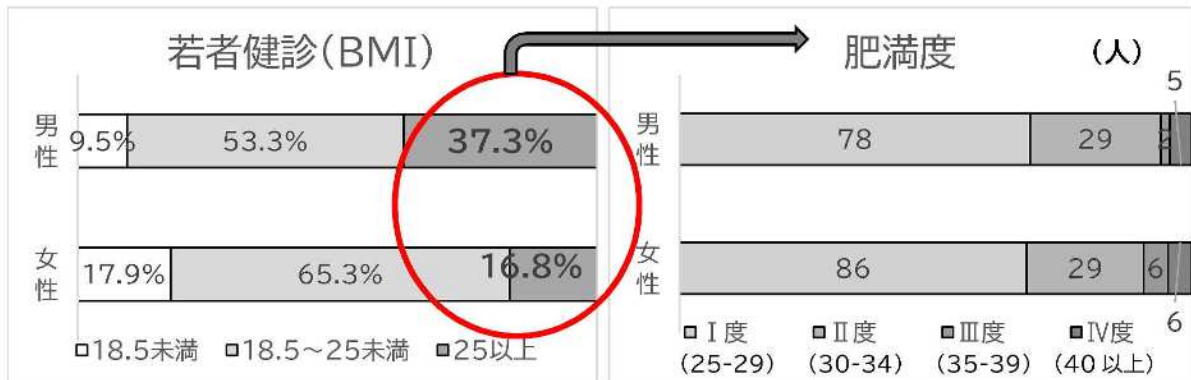
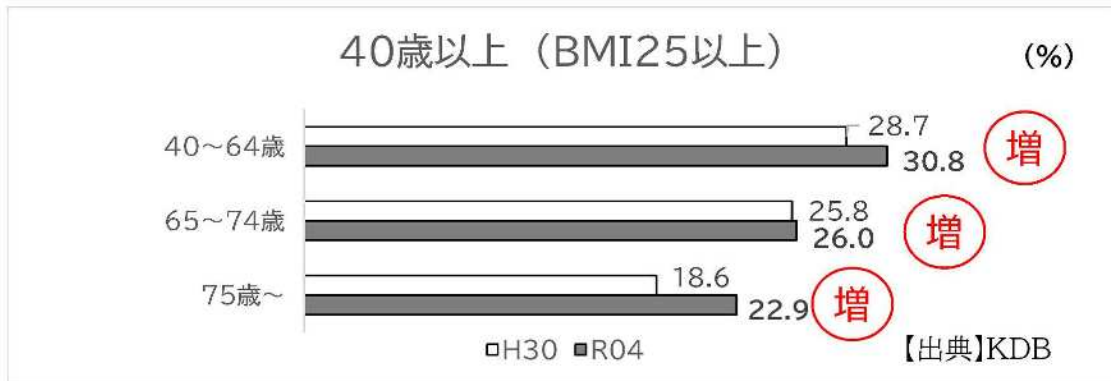
	健診時 未治療 (問診)	医療レセプト (R3.4.1~R4.3.31)	
		未治療	治療中断
Ⅱ度以上高血圧	64.0%	39.9%	5.2%
HbA1c7.0 以上	37.1%	7.7%	3.7%

【出典】KDB

レセプトの治療状況

- ①未治療…12ヶ月間、全く高血圧または糖尿病のレセプトがない者
- ②中断…高血圧または糖尿病のレセプトがある者のうち、直近(年度末の3ヶ月を基点として)3ヶ月以上レセプトがない者

4 肥満の状況(R4 健診結果)



若者健診:18~39歳の会社等の定期健康診断を受ける機会のない市民

受診者(R4):1,060人 平均年齢:31.7歳

【出典】北九州市若者健診